

～発達障害のこどもたちとゲームやネットの世界～

ルールを守れない、止めると感情の制御が難しくなる、学校や事業所に行き渋る等々……どうしたらいいかと悩んだことはありませんか？

思春期・青年期という対応の難しい年代において、発達障害の診断を受けた方などは身近な家族や支援者とのコミュニケーションも難しくなることが少なくありません。ライフステージを通じた一貫した支援のためには、この時期の複雑な心の動きを理解し、寄り添い、支えることが大切です。

今回は、児童精神科医として、発達障害や不登校のこどもなどを中心に数多くの診療を行っている 関 正樹先生を講師にお招きしました。発達障害のあるこどもたちにとってのオンラインのコミュニケーションと「居場所」の意味や、そこから何を求めているのかについて検討するとともに、こどもたちへの適切な関わりなどについて考えたいと思います。

ぜひ皆様ふるってご参加ください。

せき まさ き

講師：関 正樹氏（医療法人仁誠会 大湫病院 児童精神科医）



福井医科大学卒業後、岐阜大学精神神経科局に入局。その後、土岐市立総合病院精神科を経て現職。

発達障害や不登校のこどもの診療にあたりとともに、地域における発達障害の啓発活動や保護者の座談会などに出席し、家族支援を行っている。

著書 『子どもたちはインターネットやゲームの世界で何をしているんだろう？ 児童精神科医からみた子どもたちの「居場所」』（金子書房）『思春期の「つながる気持ち」はどこへ行く？—学校に行きづらい子どもとネット・ゲーム・SNS』（日本評論社）など

●日 時 令和7年2月28日（金）14:00～16:00

●開催方法 Zoomによるオンライン講座

●定 員 90人（参加費無料）

●対 象 広島市在住で、発達障害の診断を受けた方（おおむね10歳から25歳）の保護者や支援者など

●主 催 広島市こども未来局こども青少年支援部、広島市発達障害者支援センター

●申込方法 左記二次元コードを読み取るか、「広島市 思春期・青年期講座」で検索して、専用の入力フォームからお申し込みください。



定員を超えて申込があった場合は抽選とさせていただきます。

参加の可否につきましては、申込締切後に申込入力フォームでご入力いただいたメールアドレス宛にお知らせいたします。

●申込期限 令和7年2月14日（金）

●問合せ先 広島市こども未来局こども青少年支援部（障害児支援担当）

TEL: (082) 263-0683 FAX: (082) 261-0545

e-mail: ko-shien@city.hiroshima.lg.jp